

□議員名：吉永美子

1 マスコットキャラクター「ねたろう君」の活用について

論点	ねたろう君の着ぐるみについて、市民にボランティアを募り、現在の貸出方式から要請に応じて出動する方式に変えてはどうか。
回答	ねたろう君にふさわしい動きを表現できるボランティアを育成し、登録した上で依頼に応じ出動する型にすれば、借りる方も借りやすくなるし、何よりもねたろう君のイメージアップにつながり、出演する効果も上がるというメリットがあると考えている。

論点	全国移住ナビに寝太郎伝説がテーマになっているので、本市唯一のキャラクターであるねたろう君を早急に活用していただきたい。
回答	質問の主旨はよくわかった。その方向で検討していく。

2 地方版総合戦略の策定について

論点	総合戦略の策定により、結婚、出産、子育て、教育の環境整備について、本市の取組みはどう前進するのか。
回答	基本目標の1つとして若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるということを掲げている。安心して子育てできる総合的な環境づくり、次代につなぐ教育環境の充実に関する施策について取り組むこととしており、具体的な事業について現在原課と検討している。

論点	総合戦略を審議する地域創生協議会の委員選定について、若者に参加をしてもらおうという意識があったのか。
回答	提案の「若者定住戦略会議」というような組織の設置は行ってはいないが、若者世代の意見を反映させるために、有識者会議の中から子育て世代である小中学校PTA連合会からも委員として参加していただいたり、商工会議所の方々からも若い意見を取り入れていただいたりということを行っている。

論点	去年の12月議会で提案した総合子育て支援センターの設置と、出産から子育てまで切れ目のない支援を行うための子育て世代包括支援センター設置の考えを聞く。
----	--

回答	<p>前回、ショッピングセンターなどの中に設置したらという提案もあった。その点も含めて今現在、鋭意検討しているところである。是非作りたいという思いは同じである。子育て世代包括支援センターについては、来年度からの設置に向けて前向きに検討していきたい。</p>
----	--

論点	<p>本市において、文化やスポーツの振興に力を入れるということは、総合戦略にも位置づけがされると期待しているが、考えを聞く。</p>
回答	<p>文化やスポーツによるまちづくりを推進することは、町のにぎわいを創出することが期待され、総合戦略においても基本目標の1つとして、持続可能で元気な住みよい地域社会をつくるということを掲げる中で、にぎわいや交流を目指すまちの活性化に関する施策として、現在具体的な事業について検討しているところである。</p>

論点	<p>スポーツによるまちづくり推進計画の下に、レノファを活用したまちづくり実行計画、アクションプランを策定すべきではないか。</p>
回答	<p>スポーツによるまちづくり推進計画は、あくまでも理念だけをうたったものだとして理解している。スポーツによるまちづくりについても、具体的な行動計画であるアクションプランを来年度以降はつくっていく予定にしている。</p>

3 自助努力による自主財源の確保について

論点	<p>本市も企業的感觉を持って、収入を得る姿勢を強めていくべきである。若い職員の意見を取り入れているか。</p>
回答	<p>地方創生においても、若い職員から自由な意見を募っており、行革についても、今後とも若い職員から自由な提案を得ることに積極的に取り組んでいきたい。</p>

論点	<p>平成22年12月議会において、ふるさと納税をしてくださった方に企業の協力のもと、本市の名産品をアピールしてはどうかと提案したが、予定はどのようなになっているか。</p>
回答	<p>返礼品については、市内業者から公募することとしており、市内での製造、加工した特産品や体験型特典、観光などのサービス事業な</p>

	ど、参加事業者から幅広く提案をいただくことを考えている。民間のふるさと納税サイトへの参加やクレジットカード決済等の導入も検討している。来年度からの実施に向け、現在準備を進めている。
--	--

4 市営住宅について

論点	6月議会で取り上げた、他市の市営住宅入居者が本市の市営住宅に応募できない件について、住宅困窮要件緩和の予定と内容を聞く。
回答	11月に県営住宅の住宅困窮要件の緩和がなされ、他の公営住宅に入居している方でも、事由がある方は県営住宅に申し込みができるようになったので、本市においても県営住宅の事例を参考に要綱等を作成し、平成28年5月募集分より対応したいと考えている。

論点	入居案内について、6月議会で宮城県の実例を例に挙げ、市民目線での作成となるよう改善を提言したが、検討状況を聞く。
回答	市営住宅の募集案内については、入居申込書等とあわせ、入居手続関係と収入要件関係の2冊の案内冊子を配布している。指摘の件については、募集案内の中に別紙として、よくある質問としてまとめた書類を平成28年1月募集分より添付することを検討している。

論点	他県における公営住宅入居者が本市に転入したいと希望する時には、市営住宅に応募できるようにし、移住を促進すべきではないか。
回答	条例の上でも不可能ではないと考える。もう少し担当の部署である建築住宅課と協議したいと思う。

5 動物愛護について

論点	9月議会での市長答弁を踏まえ、避妊・去勢助成制度創設について検討状況を聞く。
回答	避妊・去勢費用の助成制度については、以前から提案があったが、その制度の効果において、まだ不透明な部分も多く、総合的に判断すると、現在のところ、予算の大小にかかわらず導入する予定は持っていない。